

これまでの取り組みで抽出した主な課題

- ① 淀川舟運に対する認知度
- ② 船着場周辺の施設の利便性
- ③ 商用運行としての収益性



R6年度の取り組み方針

- 将来の商用運行の実現に向け、舟運の魅力・認知度や利便性の向上に継続して取り組む
- 万博開催により弾みを付けるべく、沿川の関係機関によるにぎわいイベントを舟運を軸として同時に実施【目玉の取り組み】

具体的な取り組み

- 舟運を軸とした沿川イベントの実施 ..①
これまでと同様の個別イベント
沿川が一体となったイベント (社会実験)
- 閘門・船着場の利用手続きの改善 ..③
利用手続きの電子化や利用時間拡大の検討
- 船着場周辺施設の整備 ..②③
かわまちづくり計画の推進 (自治体)
親水護岸・閘門(照明を含む)・船着場の整備、
航路の確保 (国)
トイレ等の整備 (国・自治体等)
- 利用者へのサービス向上 ..①③
アクセスのための案内 (自治体等)
- 淀川舟運ポータルサイトの開設 ..①

【万博開幕6ヶ月前・1ヶ月前イベント】

- ・ これまで沿川自治体が個々に行ってきた、にぎわいイベントを沿川で同時に実施
- ・ 沿川の船着場を観光船やアクティビティ (カヌー、SUP、自転車) で繋ぐことで沿川の一体的なにぎわいを創出
- ・ 下記の日で同時開催
開幕6ヶ月前イベント 10月13日(日)
開幕1ヶ月前イベント 3月16日(日)
- ・ 実施に際し「淀川かわまちづくりネットワーク」をエンジンとし、国が強力に支援